

出雲けいこ

こころにっこのさいたま市へ

さいたま市議会議員
民主改革さいたま市議団

さいたま市議会レポートVol.19

2022 Winter

発行／さいたま市議会議員 出雲けいこ事務所

埼玉県さいたま市西区内野本郷448-9-201
TEL 048-607-9593 FAX 048-715-0919
E-mail izumokeiko@outlook.jp
HP <https://www.izumokeiko.com/>

LINE

ホームページ



LINEの友達追加はこちら→

お困りごとなどございましたら、電話・メール・LINEご連絡ください。

2021年12月（11月繰上げ）定例会が11月24日～12月17日の24日間行われました。18歳以下の10万円給付、PCR検査の拡充等の補正予算案を含む市長提出議案32件を可決し、閉会しました。
2022年1月 出雲けいこ

本会議 一般質問

一般質問に登壇しました！！

— 1 — その子らしくこころにっこり育つ社会について

子どもの育ちにかかわる責任を家庭、保護者に負わせる風潮が強い中、

子どもがのびのび育つ地域、社会のまちづくりが必要です。

その子らしくこころ健やかに育つ社会をともに進めていきたいと提案しました。



一般質問

動画 →



○子どもを第一に考える社会になってきたか

Q) 2011年にさいたまキッズなCity大会宣言で「子ども・青少年の幸せと命の尊さを第一に考える地域社会の実現を目指します」としたが、この10年で実現してきたのか。

A) 子どもを取り巻く社会情勢は児童虐待や子どもの貧困など根絶し難い問題に加え、新型コロナの影響をはじめ、子どもに関する新たな問題にも対応していかなければならないことが大きな課題と認識しています。



○子どもの権利と権利擁護について

Q) 子どもたちが自分自身は権利で守られる存在であること。社会が子どもの権利を守ることが重要であること。そのための広報、周知について見解を聞く。またいじめや不当な扱いがあり、自分の権利が守ら

れていないと感じたときに子ども自身が相談できる子どもの権利擁護制度の導入や救済機関の設置を求める。

A) 子どもは次代を担う社会の希望であり宝です。すべての子どもがさまざまな場面において権利の主体として尊重される必要があります。児童養護やいじめ防止などに関連する団体を通じ、児童の権利条約に関し、広く周知を図っていきます。また、子どもの権利擁護については、県や他市の事例などを参考に、第三者機関の設置をはじめとした取組について幅広く研究していきます。

補正予算（追加補正含む）の概要

《18歳以下への10万円給付》 12月末から約18万人に向けて一括給付します。

12月9日に民主改革さいたま市議団として、クーポンではなく全額を現金にて給付するよう市長へ緊急要望を行いました。

《住民税非課税世帯等10万円給付》 約14.4万世帯に給付します。

《新型コロナウイルス感染症への対応》、《コロナのカクテル療法患者へのタクシー移動支援》

感染の再拡大に対応可能な検査・医療体制や救急業務などの感染症対策の継続的整備を行います。

《35人学級の整備》

2022年度から小学校3年生の35人学級に対応するため、教室・給食室等の改修と学校備品の物品を購入します。

《文化芸術を活用したまちの活性化》

2023年度の「さいたま国際芸術祭」開催に向けて、開催実施計画、広報戦略を策定し、実行委員会を立ち上げます。

－2－ 子どもの遊び場・プレイパークについて

一般質問



動画→



○緑の基本計画に子どもの遊び場を位置づけ、子どもの意見反映を

Q) 市内には子ども家庭総合センター「あいぱれっと」の冒険はらっぱと定期開催している別所沼公園のあそびの森、大宮第三公園の大宮プレイパークの3か所にプレイパーク(※)がある。プレイパークの位置づけがある現在の緑の基本計画の策定から13年以上が経過し、次期改訂に向けて子どもたちの育ち、遊びの重要性を鑑み、プレイパークなど子どもの遊び場をどのように位置づけるのか。子どもたちの意見を次期計画へどのように反映させていくのか。

A) 今後も引き続き都市の魅力向上や暮らしの中で憩いや交流の場を提供する取組の一つとして、プレイパークを位置づけていきます。現在、「子どもの提案制度」を活用して、緑豊かなまちづくりについて意見を募集しています。これらの意見をさいたま市花とみどりのまちづくり審議会で意見を求めた上で計画への反映を検討します。

○プレイパークの確保について



Q) プレイパークを豊かな遊びとの出会いの場として増やしていくべきではないか。

A) 新規で常設・移動型プレイパークを公園内で行う場合は、さいたま市都市公園条例の範囲内であれば、指定管理者との協議による公園許可制度の手続を取ることが必要です。一方、別所沼プレイパークのような都市公園条例で禁止されているたき火など火を使用する活動の場合は、公園管理者が窓口となり活動場所や内容などについて相談、支援をしていきたいと考えています。



移動式遊び場の様子

※プレイパークとは、通常の公園などでは禁止されていることの多い、火を使う、穴を掘る、公園にある木を使ってプランコや綱渡りをして遊ぶ、木材とごぎりなどの工具を使って工作をするなど、禁止事項の少ない冒険遊び場のことです。子どもたちがその子らしく遊びから育つ生きる力や子どもたち同士で協働して遊ぶ力を育みます。

－3－ 民設放課後児童クラブ(学童)の支援について



○保護者運営の支援について

Q) 民設学童運営に携わる保護者は自分自身の仕事に加え、学童運営のための日々の入出金の管理や行政との申請書類の事務、支援員の確保や利用者増による学童分離のための物件確保、また現在では新型コロナによる事務負担や感染者が発生した場合などの負担が増えている。保護者運営の負担を軽減することが重要だと考えるが、見解を。

A) 保護者運営に係る事務の負担や施設確保が課題となっていることは認識しています。運営に係る課題の把握に努め、運営支援に努めていきます。



○Wi-Fi 環境の整備について

Q) 学校ではGIGAスクール構想が始まり、今後はタブレット端末の持ち帰りが始まる。タブレット端末を利用した宿題を学童とする体制整備の予定はいかがか。



A) 現在、民設学童のWi-Fi 整備は、学童の運営事業者に関係なく個別に対応いただいています。今後は学校におけるタブレット端末の利用範囲や他政令指定都市の導入状況等を調査し、学童のWi-Fi整備の必要性について研究していきます。

－ 4 － 西区の利便性向上について



○既存の交通資源の活用について

Q) コミュニティバスや乗合タクシー、路線バスの路線がないなど交通に不便な地域がある。その解消のために、例えば西楽園の無料送迎バスや、大学・企業等が所有する駅までの無料送迎バスを活用し、それらのルートの途中で乗降が可能になれば、市民の利便性向上や環境的負担軽減にもつながると考えるが、見解は。



A) 従業員移送のバスなど個別輸送は、2020年11月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律などの関連法令が改正施行され、地域の実情に合わせた公共交通として位置づけることが可能となりました。さいたま市地域公共交通計画の中でバス、タクシーなど、主に不特定多数の方が利用できる移動手段によるサービスの提供が難しい場合には、個別輸送についても活用することを現在、検討しています。



○県道165号線大谷本郷さいたま線について

Q) 大谷本郷さいたま線は新大宮バイパスと並行しており、交差する生活道路もそれぞれが狭く、出会い頭の事故も発生している。三橋5、6丁目の利便性向上のための取組について伺う。

A) 県道大谷本郷さいたま線の三橋6丁目の一部には、交通空白地区があります。県道の安全性等が確保されれば、コミュニティバス等導入ガイドラインの手順に従い、新たな公共交通を必要とされている地域の方々が主体的に取り組めるよう導入にむけて市は積極的に支援します。

～文教委員会での質疑・議案外質問から～

○35人学級について

2026年までに小学校3～6年生までを段階的に1クラス40人から35人に引き下げていきます。学級数では251クラス、教職員数では228人の増加が見込まれていますが、本市の人口増加の状況を考えると上振れする可能性もあります。

(さいたま市を除く埼玉県は約700人の増加が見込まれています。)

課題は教室や教職員の不足であり、教室確保のために、特別教室等を普通教室へ転用する改修や仮設校舎を予定しています。教職員確保のために、教職員として働く魅力を発信し、学校における働き方改革を推進させ、教員採用選考試験の志願者の増加を図る計画です。

さいたま市は、関東近隣都県・近隣政令市と比較し、正規教職員の採用比率が最も低い状況です。子どもたちの教育環境の改善のためにも、35人学級の実施効果を高めるためにも教職員の確保が最大の課題です。



○児童・生徒の新型コロナウイルスワクチン接種について

Q) 接種の有無を市立学校の教職員がクラスの児童・生徒に対してワクチン接種をしたかどうかを確認するために手を挙げさせて確認していた事案があった。この行為は自己決定権の侵害のおそれ、同調圧力にもなりえることやワクチン未接種者への偏見、差別、いじめにもつながりかねないが、見解は。

A) 教育委員会として7月と9月に学校長宛てに児童・生徒のワクチン接種の配慮について「・ワクチン接種に伴う出欠席の取扱い・ワクチン接種は強制ではないこと・周囲に接種を強制してはいけないこと・様々な理由によって接種できない人や接種を望まない人もおり、その判断は尊重されるべきであること」等の内容で、差別やいじめ、偏見等につながらないように各学校に通知しました。今回の事案については、不適切な対応であったと考えています。

みなさんのご意見・ご要望をお聞きます

出雲けいこ事務所 Fax 048-715-0919までお送りください。

お名前

お電話

ご住所

暮らしの中での困りごと、地域でのお悩みごとなど、皆さんの声を出雲けいこにお寄せください。解決に向け、最大限活動してまいります!!

みなさんから、困りごとや市政への提案をお聞きました。

*特別支援学級の指導について

*教員不足について

*用水路の雑草対策について

*交通事故と介護保険制度について

*扇通りの横断歩道設置について

*公園のベンチ設置について

*宮前の手押し信号設置について

*視覚障害者の投票について

など

【出雲けいこ プロフィール】

市議会議員60人中、唯一の現役子育てのママ議員です（小学生2人）。

子どもが1歳のときに、東日本大震災が発生し、家族だけで子どもたちを守ることは限界があり、社会全体で子どもを守り、子育てをする仕組みが必要だと考えるようになる。趣味は、日本固有種の野菜づくり、梅干しやお味噌づくり、読み語りボランティア（現在中止）等。防災アドバイザーとして活動中。



予算委員会質疑

【活動報告】視察や研修会等 参加の抜粋

- 11月5日 教育フォーラム（LGBTの子どもたちへの支援について）
- 11月7日 子どもの権利条約フォーラム in かわさき オンライン参加
- 11月8日 与野南小学校のさいたま市議会見学 子ども特別議会に参加
- 11月9日 特別支援学校 防災フォーラム
- 11月13日 横浜プレイパークネットワーク視察
- 11月14日 高齢者等避難所体験会 @植水中学校
- 11月15日 戦没者追悼式
- 11月22日 かしの木特別支援学校 視察
- 12月15日 宮前小通学路に信号機設置／



指扇公民館と指扇小学校の建替についての要望書提出



ご相談は電話、
FAX、LINE、
Twitterなどからご
連絡ください。

LINE



Twitter

